

日本赤十字社

松山赤十字病院

〒790-8524 愛媛県松山市文京町1番地
 [TEL] 089-924-1111 [FAX] 089-922-6892
<https://www.matsuyama.jrc.or.jp/careers/resident/junior/>

応募連絡先

担当部署：人事課 教育研修推進室 担当者：研修係長 酒井 かおり
 ✉ kenshu@matsuyama.jrc.or.jp

令和4年12月グランドオープン!!

大正2年に創立され、100年以上の歴史を持ちます。センター構想のもとに高度の専門医療を提供し、愛媛県における基幹病院の一つとしての重責を担っており、学会認定医制度に基づく研修教育施設として専門医取得に力を入れています。平成17年に「地域医療支援病院」の承認を受け地域完結型の医療を実践しており、輪番制となっている救急当番日以外も24時間365日、かかりつけ医からの紹介を受け救急医療に力を入れています。平成30年1月に北棟、令和3年3月に南棟が完成し、令和4年12月にグランドオープンを迎えることができ、今まで以上に患者に寄り添う医療を提供していきたいと考えています。

● 病院データ

 病床数	 医師数(研修医含む)	 初期研修医数	 指導医数	 外来患者数(1日平均)
 入院患者数(1日平均)	 救急外来患者数(年間件数)	 救急車搬送患者数(年間件数)	 年間手術数	 年間病理解剖数
585床	219人	33人	128人	1,085人
509人	13,378人	5,731人	7,076件	12件

〔開設年〕	大正2年4月1日
〔開設者〕	日本赤十字社
〔院長〕	西崎 隆
〔標榜科〕	内科／血液内科／糖尿病・内分泌内科／肝臓・胆のう・膵臓内科 腎臓内科／脳神経内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科 リウマチ科／小児科／外科／整形外科／形成外科／脳神経外科 呼吸器外科／心臓血管外科／小児外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科 眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線診断科／放射線治療科 麻酔科／血管外科／乳腺外科／心療内科／精神科／歯科口腔外科／病理診断科

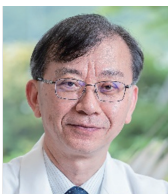


1 年次研修医

縫合と糸結び

メッセージ

○院長



院長
西崎 隆
(九州大学卒)

当院は、これまで長年にわたり基幹型研修病院、ならびに愛媛大学と九州大学の協力型研修病院として多くの研修医を受け入れ、豊富な教育指導経験があります。救急患者の振り回しを行う「救急部カンファレンス」、診療にすぐ役立つ知識を伝授する「モーニングレクチャー」、エコーなどの検査実技を学ぶ「検査部ワークショップ」、設備の整ったシミュレーションルーム、図書室など、充実した研修ができるよう整備し、その中で皆さんが生涯の目標を見つかけられるよう支援しています。

医師になって初めの2年間は、チーム医療に必要な人間形成にとっても大切な時期です。多くの教育熱心な指導医と医療スタッフの指導のもと、皆さんは着実に実力を身につけることができます。

○指導医・プログラム責任者



副院長
藤崎 智明
(九州大学卒)

臨床研修は、皆さんの資質を磨き、医師としての素養を身につけると同時に、患者さんの立場に立てる人格涵養を行うことが出来る唯一無二の大切な期間です。はじめの2年間で今後の自身の医師像を決めると言っても過言ではありません。

当院は最新の設備を擁し、優秀な数多くの指導医、患者の立場から意見してくれる看護師、知識豊富で頼りになる薬剤師、技術を惜しげもなく伝授する技師、そして皆さんのニーズに柔軟に対応してくれる事務職員が皆さんを支え、育てます。愛媛の地域医療の維持・発展と一緒に貢献してくれる人材育成が我々の責務と考えています。是非、一緒に頑張っていきたいです。

● プログラムの目的・特徴

目的

- 1) 医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアへの理解を深め、患者を全人的に診ることができる基本的な診療能力を修得する。
- 2) 看護師、薬剤師などのコメディカルスタッフとともに診療にあたり、チーム医療の実践を身につける。
- 3) かかりつけ医など地域の医療機関との密接な連携のもとで、地域完結型の医療を学ぶ。
- 4) 後期研修（レジデント）で専門医療を体得するための基礎をつくる。
- 5) 赤十字の使命である災害救護活動や医療社会奉仕活動に積極的に参加する。

特徴

地域医療支援病院として連携している医療機関から紹介される豊富な症例を通して幅広い臨床研修を積むとともに、各診療科では地域の基幹病院として提供している高度の専門的医療を学ぶことができます。

救急部門の研修は、救急外来の一次救急から救急搬送患者までの初期診療に重点を置き、継続して救急入院患者を担当します。また、選択必修の麻酔科研修も含め、気管挿管・中心静脈確保等の救命に必要な手技を習得します。更に希望する場合は、2 年目の選択期間に、他県の赤十字病院の高度救命救急センターでの研修も可能です。

平成 19 年に「教育研修推進室（臨床研修センター）」を設置し、教育研修担当の看護師、事務職員を配置し、薬剤師、検査技師等のコメディカルスタッフも含めて病院職員全体で研修医を育てています。研修ローテーションは個人の希望を尊重して作成し、研修途中の変更にも柔軟に対応しています。各診療科では、指導責任医師のもとに、指導医、後期研修医（レジデント）が熱心に指導にあたっています。当院はクラブ活動を推奨しています。余暇も大切に、ゆとりを持った研修生活を送ってほしいと思います。

● 研修スケジュール

1年次	24週		8週	4～8週	4週	4週	4週	4週
	内科系		救急部門※1	麻酔科	外科	小児科	産婦人科	精神科
	当院		当院	当院	当院	当院	当院	外部医療機関
2年次	4週	48週						
	地域医療	選択科（将来専門とする診療科を中心に関連の診療科）※2						
	外部医療機関	当院又は外部医療機関						

必修分野				その他の分野及び選択研修など	
内 科	24週	地域医療	4週	※1：救急部門研修：救急輪番日（救急日）は、外来の一次救急から救急搬送患者までの初期診療に重点を置き、継続して救急入院患者を担当します。2年間を通して救急部門以外の研修期間においても月2～3回程度の救急宿日直を担当します。これにより、救急部門研修を8週とすることも可能です。 ※2：救命救急センター等での重症患者の集中治療・救急医療の研修を希望する場合は、2年次の選択期間に原則として、4～8週間の他施設（赤十字病院）における研修を可能としています。 ※救急研修：日本赤十字社和歌山医療センター高度救命救急センター、徳島赤十字病院高度救命救急センター	
救 急	8週	精 神 科	4週		
外 科	4週	麻 酔 科	4～8週		
小 児 科	4週				
産婦人科	4週				

● 募集要項

〔予定人数〕	18名	〔学 会 等〕	あり：発表時旅費支給あり
〔応募締切〕	令和5年7月31日（月）必着	〔宿 舎〕	あり：契約住宅確保（敷金・礼金は病院負担）
〔選考試験〕	第1回：令和5年8月10日（木） 第2回：令和5年8月24日（木） 書類審査、小論文、面接により選考 ※マッチングシステムに参加	〔院内保育所〕	あり
〔応募書類〕	①松山赤十字病院初期臨床研修申込書（DOCX形式） ②履歴書（XLSX形式）③卒業見込証明書 ④医師免許証の写 ⑤成績証明書 資格取得見込みの方①②③⑤ 資格を有する方①②④ ※①②については当院ホームページの「臨床研修サイト」からダウンロード	〔休 暇〕	土曜日、日曜日、祝祭日、創立記念日（5/1） 年末年始（12/29～1/3） 有給休暇24日、特別有給休暇（慶弔、夏季休暇）
〔研修手当〕	1年次：約409万円／年 2年次：約456万円／年 ※賞与込、手当別 時間外手当：あり 宿日直手当：あり 救急当直は実働に応じた時間外手当を支給 通勤手当：あり 月額55,000円を限度として支給 住宅手当：あり 月額28,500円を限度として支給	〔保 険〕	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
		〔そ の 他〕	年収：1年次 約5,800,000円 2年次 約6,300,000円 （※給与年額は令和4年度実績）

○研修医



研修医
2 年次
桧垣 有紗
(愛媛大学卒)

松山赤十字病院の魅力をお伝えします。1つ目は温厚な先生方、看護師さんなど多職種の皆さんの手厚いご指導を受けられることです。研修医1年目から手技や病棟業務など経験することができ、様々な視点からの医療の見方を学びながら日々成長することができます。

2つ目は研修医の人数が多いことです。同期は互いに切磋琢磨して高め合える存在であり、喜びや不安を分かち合うことができます。

3つ目は病院が新しく建て替わり、とても働きやすい環境であることです。院内にはタリーズやローソンもあり、休憩時にも安らげる職場です。

ぜひ一度病院見学に来て病院の雰囲気を見ていただき、研修先に選んでいただけると幸いです。

研修医を対象に様々な研修会などを行っています！

【救急部カンファレンス】毎週金曜のお昼にはランチ付きのカンファレンスを行っています。1年次研修医が救急外来で「判断に迷った症例」について検討し、その後各科指導医がミニレクチャーを行っており、臨床に使える知識を得ることができ、実際の症例を元に対応の仕方も学べます。



【モーニングレクチャー】毎週木曜の朝は輸液療法や抗菌薬などテーマに沿って医師やコメディカルが講義を行っており、幅広い知識を学ぶことが出来ます！



【ワークショップ】検査部、病理診断科、放射線診断科・治療科が開催しています。他職種との垣根が低く、多くの事が学べる環境です。